

オマージュ&トリビュートの“改ジャケット”× 空想&願望の“妄ジャケット”大集合！

ジャケット改アート STATEMENT

LPジャケットの勝手に改ざんしちゃいましたアート展

～音楽好きがく創る>+<集う>+<語る>+<懐かしむ>復刻&創作レコジャケットARTフェス～

◆皆それぞれに思い出・想い入れのある「音楽とジャケット」。ついジャケット買いし、部屋に飾ったLP世代にとって「レコジャケット」は身近なアートでした。その思い出深いレコジャケットを現代作家が手掛けたらどう生まれ変わるのか。ノスタルジックながらも目新しく、好奇心そそるアートイベントを全国各所で開催します。

◆同展へは、アートや画廊・美術館を「縁遠い存在」「閉ざされた特殊な空間」と感じている方々も気軽にこ来場いただいています。LP時代を謳歌した“昔の若者たち”が音楽談議に花咲かせながら鑑賞されていたりする一方、いまの若者世代にも“古きを訪ねる”新鮮な体験になっているようです。

◆作家にとって音楽をオマージュし、ジャケットに仕立てることは、創作意欲をかりたてる新たなチャレンジになります。音楽というモチーフ、ジャケットという画材、そんな制約のある中、どのような表現を、いかなる手法で具現化するのか創意工夫が試されます。彫刻・版画・陶芸・音楽家などの隠し芸大会の様相も(笑)。

◆音楽家の描いたジャケット画も多数出品されていたり、来場のゲストや出演者が触発され、ライブ中に描いた即興ジャケット画が追加展示されたり…、誰もが参加できる、ゆるくて破天荒でボーダレスなアート展です。

◆会場はギャラリーに限らず、飲食店、ライブハウス、ホール、映画館、大学、レコード店、寺社、商業施設など幅広く募集しています。共催会場にとって、集客・来訪の機会・話題づくりになればと考えています。

◆誰もが知るメジャーな名盤から、ニッチでマニアックなアルバムまで、音楽には幅広いジャンルがあります。そこで、同展では会場ごとにキュレーターを立て、個性的なジャンルやユニークなテーマで会場を色分け、会場を渡り歩いてジャケットめぐりを楽しんでもらえる地域回遊型アートイベントをめざしています。

◆音楽ライブ可能な会場では、演奏会やDJイベント、レコード鑑賞会などを開催。またアーティスト・トーク付きのジャケットワークショップなど参加できるイベントいっぱいアートフェスです。

◆音楽家とその作品はメッセージを発しています。それを美術家がオマージュ・視覚化し、そこに共感した音楽ファン・美術ファンが集う。そうなれば会場は、作品メッセージのデモンストレーション空間と化します。ウッドストックの「LOVE&PEACE」テーマに掲げたサイケな反戦・反核ジャケット会場なども現れるかも(笑)。

◆パトロン審査員による懸賞付きジャケットコン(コンクール)を随時開催。第一回は邦題クラじゃけアワード。

◆作家は原画の委託販売ができ、本展アーカイブ&ストアでは複製ジャケットの販売もできます。原画を売り渡さなくても作家が著作収入を得られる「ロイヤリティ還元モデル」の普及をはかります。

◆アナログレコード売上が日米で急伸中です(日=前年比20%増、米=30年ぶりCD売上抜く)。これは参加作家にとって追い風です。著名音楽家や音楽関係者に注目され“メジャーデビュー”も夢じゃない！

◆同展事務局では、音楽関係者からのオファーを受け付け、作家さんをつなぐ活動も推進しています。

◆芸術祭や音楽祭、アートフェアなど地域のイベントと連携して開催することもあります。

【著作権について】ジャスラックによれば音楽タイトルには著作権がないためタイトル使用は問題ないとの見解です

会場・運営協力・キュレーター

- 予定会場(2020・10.10～11.23)…酒游館/ジャズカフェ YUGEYA/近江八幡・あきんど道商店街ショップ・飲食店
- 終了会場(2019.12～3月)…K.Art Studio/ギャラリーdeux deux/spazio rita/海月の詩/もつきんぼと/船上 Som's
- 【協力】K.Art Studio/ハートフィールドギャラリー/NPO まちづくり協議会 LINK/鬼頭印刷/OsiroScope/ムーブメント
- 【キュレーター】加藤慶・山本浩史・菊永よいち・藤原草太朗・浅井一男・田中進・川合康雄・Meg Mazaki・滝沢彰